

3. 砂川市の反対理由

- ・ 北海道全体の再編計画が示されないなか、砂川警察署管内（上砂川町、奈井江町、浦臼町）は、29,219 人の人口であるのに、それより少ない警察署管内がある。何故統合の対象となるのか、唐突な話であり全く理解ができない。北海道の全体計画を示すべきである。
 - ： 赤歌警察署 15,000 人
 - ： 芦別警察署 15,208 人
 - ： 美唄警察署 23,783 人
- ・ 現在、一番古い帯広警察署が 27 年度から設計に着手、工事終わるまで 5 年間（約 30 億円）要する。次に古いのは、滝川警察署（昭和 36 年建築）、砂川警察署（昭和 37 年建築）の順。この際、北海道は財源不足のため老朽化した警察署を単純に統合するだけではないか。
 - * 道警の説明は、老朽化の問題は「別として」とされ、あくまで警察機能・治安力を高める統合であると強調している。
- ・ 仮に統合しても、警察署長権限の指揮命令で署員は動くものであり、管轄範囲が広がると手薄になる。統合された側の治安が絶対確保されるものなのか疑問。
 - 現状、警察署で署員が不足しているのが問題であり、分庁舎化されることで、将来的には更なる削減が懸念されるのではないか。
- ・ 近年は、犯罪の広域化、複雑化、凶悪化、不審者の出没、交通事故の増加など日常生活においても多様な事件・事故が潜んでおり、本署に刑事が集約されると、事件や事故が発生した場合の即応態勢に時間を要し、治安力や救命率が低下するのではないか。
- ・ 砂川市には、中空知の災害拠点病院、24 時間救命救急センター病院として砂川市立病院があり、また、広域消防組合と警察署管内が同じで、警察署と密接な組織関係にあり機能連携は必要不可欠で重要である。

4. 今後の対応

- ・ 統合反対の署名取組み：締切り：9 月末日、回収：10 月初め
- ・ 北海道警察本部への要請：1 市 3 町で調整後
- ・ その他